



安全・適正就業だより

☆☆

巡回視察報告

…事故0を目指して…

2月1日、羊山公園管理業務班と家事援助班の就業活動を視察しました。羊山公園は、残雪の中で雑草・笹の葉・木の枝の焼却など、芝桜の植付け準備が行われていました。寒さ対策・雪や濡れた土で滑り易い足元への注意、及び火元の注意をお願いします。



成田山（熊木町）への家事援助は、5人の会員が2月3日の節分祭に使用する「赤飯」と「煮しめ物」の準備中で、大量の食材を洗ったり切ったりする作業を手際よく行っていました。安全に十分注意して作業するようお願いします。

事故報告

- 1月15日、上宮地内で植木剪定作業中、梯子から落ちそうになったので飛び降りた際に、足場板に胸を打ち付けてしまった。
- 1月22日、清掃作業で移動中、雪掃きのしてあった道路だったが、路面が凍っていたため、バックをした際に滑って雪の塊にぶつかった。(車両事故)
- 1月25日、清掃作業で移動中、愛宕神社に入る時スリップして雪の塊に当たり軽度の損傷をした。(車両事故)



※ 思わぬ所に凍結あり！ 昼間解けた雪が凍っていて歩行中に滑ったり、車でスリップして事故になる場合があります。「歩く時は小股で…」十分に注意しましょう。

事故を無くすのは貴方です...

常に安全基準を守り、正しい機械の取り扱い方法や用具の工夫・改良などに努め、会員が自ら危機感をもって事故対策に取り組むことが大切です。言い方を変えれば、「事故を無くせるのは貴方だけ」なのです。「共働・共助」、皆で事故のない秩父市シルバー人材センターを目指しましょう。

「派遣」の就業時間が変更になるかも……

高齢者の就業支援強化 「人材バンク全国に設置」

「一億総活躍社会」に向けて、政府は65歳以上の高齢者の就労支援に力をいれ、就労意欲の高い高齢者の受け皿と**少子高齢化社会の人手不足に対応**するため、平成28年度に退職予定者を中小企業に紹介する人材バンクや地域雇用掘り起しの組織を設立する。26年度高齢社会白書によると、**50・4%の人が65歳を超えても働きたい**と回答、そして、労働人口に占める65歳以上の割合が26年度に初めて10人に1人を上回った。特に注目されるのは、高齢者に地域の仕事を紹介する既存のシルバー人材センターも、**就労時間の上限を派遣や職業紹介に限り週20時間から週40時間に引き上げる**とされている点です。

また、高齢者へ仕事の情報提供や雇用創出など地方自治体がまとめた事業計画に対し3千万円が委託費として支給されるなど、国の政策に沿った事業に対し補助金を支給する傾向がますます強まっています。

資料 [28・1・24産経新聞]

※シルバー人材センターは、正確な情報収集と地域の状況（特徴）を把握して、これに対応する準備を早急に行う必要があると思います。



「請負・委任による就業」と「シルバー派遣事業」の比較

項目	請負・委任による就業	派遣による就業
就業形態	臨時的短期的な就業又はその他簡易な仕事	請負・委任と同じ
雇用関係の有無	なし	公益財団法人 いきいき埼玉と雇用関係あり
発注者の指揮命令	受けない	受ける
発注者との混在作業	混在作業をしてはならない	混在作業をしてよい
事故の際に適用される保険	シルバー保険	労災保険
発注者との契約当事者	各シルバー人材センター	公益財団法人 いきいき埼玉 シルバー人材センター連合
社会保険・雇用保険の適用	なし	なし
会員に対する報酬	配分金（雑所得） 源泉徴収の対象にならない	賃金（給与所得） 源泉徴収の対象になる

※派遣については一部変更になる可能性があります。